

米国カリフォルニア州 サクランボの遅い出荷が開始

FreshFruitProtal 2023年5月18日

サクランボの収穫が2週間以上遅れていたカリフォルニア州では、ついに2023年シーズンに向けた出荷の準備が整った。寒さと雨により出荷シーズンの開始が遅れ、同州はメモリアルデー(5月29日の戦没将兵追悼記念日)の祝日に向けた果実の需要を満たすことができない。大量の入荷は6月の最初の週に予想されるため、小売業者は祝日に必要な在庫を持っていない。

遅いスタートにもかかわらず、800万箱以上の大量の高品質果実があり、残りの出荷シーズンは有望なようだ。カリフォルニア州の今年のサクランボシーズンは、前年比で50%以上減収した2022年よりもかなり良いと予想されている。カリフォルニア州の出荷の終わりころに始まるワシントン州の出荷も今年は遅れており、両州の間のスムーズな移行が可能になる。サクランボの小売価格は現在、一箱あたり約60ドルである。

(関連記事)米国カリフォルニア州 メモリアルデーのサクランボがない

FreshPlaza 2023年5月15日

カリフォルニア州のサクランボの収穫はほとんど始まっていない。早生品種が始まったばかりで、通常より2週間半～3週間遅れている。ダイレクトソース・マーケティング社(果実輸入販売業者)のアイラ・グリーンスタイン氏は「とても寒かった」と言い、「過去6～8週間は寒く雨が降っていた。先週でさえフレズノ郡の気温は50度台半ば～60度台前半(約12～17℃)であった」と付け加えた。今週はついに気温がうまく上がり、80度代半ば(約29℃)に達した。(以下「」は同氏の発言)

来たるメモリアルデー(5月29日)の祝日にサクランボの需要が高まるため、この遅いスタートは生産者と出荷業者に大きなプレッシャーとなっている。「小売業者らは、通常は祝日の1週間前に始める販促活動を計画してきたが、残念ながら必要な量を確保できない。」その結果、生産者には収穫を始めるよう大きなプレッシャーがかかるが、5月の最終週/6月の第1週までは大量の出荷はない。

スポット価格 品物の不足により、スポット市場での価格は非常に高くなっている。「スポット市場での10.5列(直径1インチ=25.4mm)のサクランボの価格は、現在95～100ドル/箱となっている。」入荷量が増えるにつれてスポット価格は下がるが、来週はまだ70ドル/箱を超えると予想されている。「小売りで設定された価格は約60～65ドル/箱であり、小売業者は販売計画に対応することを求めているため、これは生産者にとって困難な状況である。」グリーンスタイン氏は5月29日までには事態が落ち着くと予想しているが、それまでは厳しい状況だろう。

明るい面では、8百万箱以上の高品質果実の収穫が予想され、カリフォルニア州はかなりの豊作を期待している。同州では先週雨が降ったが、果実はまだ影響を受けるほど成熟していなかった。この先の天気予報は良さそうで、誰もが収穫の開始を待っており、6～7週間の内にかかなりの量を出荷することを期待している。「6月中は、すべてが販促プロモーションに合わせて調整される。」

ワシントン州への移行 カリフォルニア州と同様に、ワシントン州の収穫も遅れると見られる。これは、カリフォルニア州の生産者にとっては作物を販売する期間が延びるため有利である。通常、ワシントン州は7月4日の祝日(独立記念日)のサクランボを供給する産地だが、今年は両方の州の産物が市場に出回ると予想される。カリフォルニア州の収穫は6月の最終週まで行われるが、かなりの量が7月4日まで出回ると予想されており、ワシントン州ではその時点でちょうど出荷が始まる。

スポット市場では5月15日から6月5日の間に一箱当たり80ドルから55ドルに25ドル以上値が下がると予想されている。グリーンスタイン氏によれば、これは非常に珍しい。「通常、市場への果実の入荷はもっと安定しているが、短期間に非常に多くの量が入荷するため、価格の急激な低下が予想される。」

執筆者: マリーケ・ヘムズ